

# 第 12 回 土壤環境監理士 資格認定試験

## 試 験 問 題

### 注意事項

1. 解答時間：午後 1 時～午後 5 時（4 時間）
2. **答案用紙は表紙を合わせて 7 枚つづりとなっている。切り離さないこと。**
3. **答案用紙の表紙の所定の欄に受験番号及び氏名を記入すること。また、  
答案用紙つづりの 2 ページ目以降には、受験番号と問題番号を必ず記入  
すること。**
4. 解答する問題は合計 4 問である。
5. 解答の記入にあたっては、筆記具は HB または B の鉛筆又はシャープペンシルを用い、丁寧に記入すること。
6. 答案の文章あるいは図の着色は不可とする。
7. 計算機（計算機能のみのもの）、定規は使用できる。
8. 携帯電話の電源を切ること。
9. 不正行為を発見した場合は直ちに退場とする。
10. その他、係員の指示に従うこと。

平成 24 年度 土壤環境監理士試験問題

I. 次の二つの設問について解答せよ。(設問ごとに答案用紙を替えて問題番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。)

I-1 住宅地に近接する稼働中の製造工場において、自主的な土壤汚染調査の結果、土壤及び地下水汚染が判明した。事業者が利害関係者に行う情報公開及びリスクコミュニケーションに関する次の設問に答えなさい。

(1) 情報公開の方法(住民説明会の開催を除く。)を三つ挙げ、それぞれの長所・短所について述べよ。(200字以内)

(2) 住民説明会実施時において説明者側が留意すべき事項を三つ以上挙げ、それぞれについて述べよ。また、司会進行役に求められる立場を述べよ。(400字以内)

I-2 土壤汚染対策法は土壤汚染による人の健康被害の防止を趣旨としており、これに則した対策を求めている。土壤汚染状況調査において、下記に示す汚染状態が判明したことから、形質変更時要届出区域に指定された工場跡地がある。

この跡地に複合商業施設を建設する計画がある。土地利用形態と経済性を考慮した対策と、これに必要な調査について述べよ。なお、解答に際しては必要な条件を設定してよい。

**【汚染の状態】**

鉛及びその化合物について土壤含有量基準及び土壤溶出量基準に不適合  
砒素及びその化合物について土壤溶出量基準に不適合

Ⅱ. 次の選択群A・選択群Bから各1設問、合わせて2設問を選び解答せよ。(設問ごとに答案用紙を替えて選択した問題番号を明記し、それぞれ2枚以内にまとめよ。)

選択群 A :

Ⅱ-1 資料等調査において土地利用履歴を確認するために収集すべき資料を三つ挙げ、それから得られる知見を述べよ。また、現地踏査・ヒアリング時に留意すべき点について、あなたの経験等を交えて考えを述べよ。

Ⅱ-2 営業中のガソリンスタンドにおける土壌汚染調査の手順、ボーリング調査時の留意点について、あなたの経験等を交えて述べよ。

Ⅱ-3 市街地の土壌汚染調査において、自然由来の土壌汚染に遭遇した場合の調査及び評価方法について、あなたが経験した事例等を交えて述べよ。

選択群 B :

Ⅱ-4 テトラクロロエチレンによる土壌及び地下水汚染が認められるサイトについて適用しうる原位置浄化技術を三つ挙げ、それぞれの技術概要を説明し、適用上の制約条件と周辺環境対策について述べよ。

Ⅱ-5 第二種特定有害物質による土壌汚染を対象とした区域内措置を二つ挙げ、それぞれの技術概要を説明し、適用上の制約条件と周辺環境対策について述べよ。なお、特定有害物質の種類と濃度については、別途設定してよい。

Ⅱ-6 自主調査の結果、土壌汚染が確認された土地がある。この土地において建築工事に伴う掘削を始めたところ、土壌と混合した状態で下記の廃棄物が認められた。廃棄物が埋設された時期は40年以上前と推測された。汚染土壌とこれらの埋設廃棄物の適正な処理及びそれに伴う手続きについて述べよ。

【認められた廃棄物】コンクリートガラ、廃木材、金属缶、割れたガラス瓶。

(注) 解答用紙は、1枚600字詰めです。